

第2学年1組 音楽科学習指導案

日 時：平成25年11月26日（火）
場 所：雲南市立海潮中学校 音楽室
指導者：教諭 西 真紀

1. 題材名 「情景や曲想を感じ取って歌おう」

2. 題材の目標

「夏の思い出」にふさわしい表現を考えて歌唱する活動を通して、歌詞が表す情景、旋律、リズムの味わいに関心を持ち、音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現をするために必要な発声、発音などの技能を身につけて歌う能力を育てる。

3. 題材設定の理由

(1) 題材について

「心の歌」とは、学習指導要領に示された、我が国のよき音楽文化を世代を超えて受けつがれるようにする観点から7曲選ばれた歌唱の共通教材である。それぞれの曲は日本の風景や文化を表す日本を代表する歌曲ばかりであり、中学生に歌い継いでもらいたいという願いがある。その中の「夏の思い出」は、夏の日の静寂な尾瀬沼の風物への追憶を表した叙情的な楽曲で、言葉のリズムと旋律や強弱との関わりなどが特徴的な楽曲である。作詞者や作曲者の思いをくみ取り、歌詞の内容や曲想などから、思いや意図をもって自分なりの歌唱表現を工夫することで、楽曲のよさを味わってほしいと考え、この題材を設定した。

(2) 生徒について

本学級は、活発な男子を中心に気兼ねなく積極的に発言したり、演奏したりすることができる19人の学級である。音楽の授業にも積極的に、真面目に取り組んでいる。変声期のため、やや声が出にくい面もあるが、先日の文化祭では「遠い日の歌」を少ない人数ながらのびのびと声を出してハーモニーを感じながら合唱することができた。その際パート内でどのように歌ったらよいかという話し合いを行い、パート練習をして歌唱することはできたが、個人でそれを考え、独唱していくことはまだできていない。今後は集団で得た力を個々に還元し、一人一人の音楽への主体的な取り組みを促していきたいと考えている。また、鑑賞教材「ブルタバ」では「曲の感じ」を言葉で表すために、「感じシート」（自作）を使用した。語彙については個人差は大きいものの、全員がシートを使って曲の感じを言葉で表すことができた。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、最終的に個人で表現したいことを決定し歌唱するために、ワークシートやグループ学習を取り入れながら学習を進め、個人で表現の工夫をする楽しさや面白さに気付かせたい。

前時で楽曲の旋律、強弱、歌詞や情景を押さえた後に、本時で曲後半の「咲いている」「はらかな尾瀬」の2箇所について、「どのような歌い方をしたいか」について個人で考え、その強さ、弱さの質感について思考・判断させたい。また、その理由を、歌詞やその情景、音の高低、旋律の動きなども手掛かりに考える。普段あまり細かく意識していない生徒が多いことも予想されるため、手掛かりとして「歌い方シート」（自作）を配付し、そこから自分の考えに近いものを選んだり、そのシートから更に考えを発展させたりしたい。その個人の考えを学級全体で発表することで他の人の意見を聞き、参考にしながら自分の表現をどのようにするのか自分で決定する。そしてそのために「音色、発音（アクセントを含む）」のポイントに絞って実際にどう歌うのかを考えさせたい。第3時で小グループの中で個人で独唱しながら、お互いの演奏を聴き合う。何回も試行錯誤を繰り返して、自分自身が納得できる表現につなげ、歌唱して表現する楽しさを味わって欲しいと考えている。

4. 学習指導要領とのかかわり

(1) 本題材で指導する事項

A 表現：歌唱	
○	ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。
○	イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。
	ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

(2) 取り扱う主な〔共通事項〕

ア	音色	曲の雰囲気にながみやすい発声・発音
	リズム	/
	速度	/
	旋律	旋律線のもつ方向性、音高、フレーズ
	テクスチャ	/
	強弱	楽曲にながみやすい強弱の質感、強弱を生かした表現
	形式	/
	構成	/
イ	用語や記号	フェルマータ、テヌート

5. 教材

・「夏の思い出」 作詞：江間章子 作曲：中田喜直

6. 評価規準

① 領域・分野と評価の観点との関連

評価の観点 領域・分野	ア) 音楽への 関心・意欲・態度	イ) 音楽表現の 創意工夫	ウ) 音楽表現の技能	エ) 鑑賞の能力
A・歌唱	○	○	○	
A・器楽				
A・創作				
B・鑑賞				

② 題材の評価規準

ア) 音楽への関心・意欲・態度	イ) 音楽表現の創意工夫	ウ) 音楽表現の技能
① 「夏の思い出」の歌詞や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を考える学習に意欲的に取り組んでいる。	① 「夏の思い出」の音楽を形づくっている要素（音色、旋律、強弱）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫している。 ② 前時に知覚・感受したことを生かして、曲にふさわしい発声や言葉の発音について思いや意図をもって、音楽表現を工夫している。	① 歌詞の内容や曲想を生かし、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能（発声、言葉の発音）を身につけて歌っている。

7. 指導と評価計画 (全3時間)

時	ねらい	○学習内容・学習活動	[共通事項]	評価	評価方法
1	「夏の思い出」の曲を知り、曲にふさわしい音楽表現について考えることができるようにする。	○「夏の思い出」の歌詞の背景や、強弱記号、曲想について知覚し、曲がもつ雰囲気を感じ取る。 ・「夏の思い出」を歌唱し、作曲者の意図した強弱や曲想について調べる。 ・尾瀬の風景や歌詞の背景について知覚する。 ○学習の振り返りをする。	旋律 ↓ 強弱 ↓ 用語 ↓	ア ① イ ①	発言の内容 ワークシートの記述内容
2 ・ 本時	強弱の質感や曲想を手がかりにして、楽曲にふさわしい音楽表現が工夫できるようにする。	○2箇所についてどのように歌いたいかを考え、友達の見取り入れながら決定する。 ・個人で2箇所をどのように歌いたいかを考えワークシートに記入する。 ・学級全体で共有し、各自で工夫したい箇所の歌い方について考える。 ・特に工夫して歌いたい一箇所を決め、そこにふさわしい声や発音の仕方などの表現の工夫を考える。 ○学習の振り返りをする。	旋律 ↓ 強弱 ↓ 音色 ↓	イ ②	発言の内容 ワークシートの記述内容
3	楽曲にふさわしい表現で歌唱することができるようにする。	○これまでに学習したことを生かしながら、ふさわしい表現で歌唱する。 ・工夫する箇所の同じメンバーでグループを作り、そのメンバーで練習をする。 ・キーボードをグループに1台準備し、それに合わせて繰り返し歌唱する。 ・グループのメンバーで「発声・音色」を特に注意して聴き合い、アドバイスする。 ・学級内発表を行う。 ○学習の振り返りをする。	旋律 ↓ 強弱 ↓ 音色 ↓	ウ ①	発言の内容 ワークシートの記述内容 演奏の聴取

8. 本時の学習 (本時2 / 3)

(1) ねらい

強弱の質感や曲想を手がかりにして、楽曲にふさわしい音楽表現が工夫できるようにする。

(2) 展開

	・学習活動◇予想される生徒の反応	教師の支援	評価規準と方法
導入	「夏の思い出」を歌唱する。	・曲の情景を思い出すように助言する。	
展開	<p>・本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>曲にふさわしい表現を強弱や曲想を手がかりに考えよう！</p> </div> <p>・2箇所についてどのように歌いたいかを考え、理由も含めてワークシート1に記入する。 ◇「咲いている」</p>	<p>・めあてと本時の流れを確認する。 ・歌詞を掲示しておく。</p> <p>・記入の仕方を確認するため、ワークシート1の例を全員で考える。 ・書きにくい生徒には「歌い方シート」を使用してそこから言葉</p>	

<p>→優しい感じ、美しい感じ</p> <p>◇「はるかな尾瀬」</p> <p>→気持ちがこみ上げるように、雄大さを表すように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の考えを全体で発表する。 ・他の人の意見を取り入れながら、個人で自分は2箇所についてどう歌うのかをワークシート1に記入する。 	<p>を選んでよいことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由について、「歌詞」「情景」「高低」などを手がかりに記入できるようにする。 ・他の人の意見は色ペンでプリントに書き加えるように伝える。 	<p>イ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の内容 ・ワークシートの記述内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の決定した表現を生かして1回歌唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの箇所で自分なりの表現をして歌唱するようアドバイスする。 ・「感じ」だけでは、実際の歌唱に結びつかないこともあることを押さえる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・工夫を考えた2箇所の内の1箇所を選び、その箇所の歌い方の工夫を「発声」「発音」「その他」に分けて考える。 <p>◇発声</p> <p>→優しい声、響く声、のびのびと。</p> <p>◇発音</p> <p>→「はるかな」の「は」と「尾瀬」の「お」を強く言う。「咲いて」の「さ」の「s」を長めにしっかりと言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいワークシート（ワークシート2）を配り、自分が決めた表現を記入させる。 ・教師側から別の箇所の記入例を示し、日本語のイントネーションやアクセントについて例示する。 ・個人で表現したいことを実際に歌唱できるように考えるように、歌いながら考えるよう助言する。 ・考えにくい生徒には、一緒に発音したり、声について考えたりする。 	
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日どのように歌うかを考えたことについて、気付いたことや考えたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習の振り返りをする。 	

③本時の評価 【音楽表現の創意工夫】イ②

前時に知覚・感受したことを生かして、曲にふさわしい発声や言葉の発音について思いや意図をもって、音楽表現を工夫している。

評価の視点	十分満足できると判断される生徒の姿の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の姿の具体例	努力を要すると判断される生徒の姿の具体例と支援
音楽表現の創意工夫	<p>○曲にふさわしい音楽表現を音色、旋律、強弱を手掛かりに根拠をもって考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「咲いている」についてppや三連符、音高を加味して考えて音楽表現を考えている。 ・「はるかな尾瀬」について、クレッシェン 	<p>○曲にふさわしい音楽表現を根拠をもって考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「咲いている」についてppのニュアンスを加味した音楽表現を考えている。 ・「はるかな尾瀬」について、クレッシェンドからフェルマータ 	<p>○歌いたい表現内容や、その理由を記述していない。</p> <p>→「歌い方シート」を利用したり、一人一人に根拠を問いかけたり、工夫する部分を確認したりして意欲がもてるように支援す</p>

ドからフェルマータ に続く曲想や、上昇 する旋律、mfを加味 して音楽表現に生か している。	に続く曲想を音楽表 現に生かしている。	る。
--	------------------------	----

9. 授業研究の視点

- ・表現したいことを自己決定するための手立てや支援が適切であったか。

「夏の思い出」ワークシート1
～表現したい曲の感じは？～

2年 名前 ()

この曲は短いですが、作曲者の中田さんが、たくさんの強弱記号 (*p* や *f*, *dim.* など) や表情記号 (テヌートなど) を使用しています。その記号には「強く」「弱く」などの意味があり、演奏する時にはその作曲者の指示に従って演奏することが大切です。

しかし、ボリュームを絞っただけのような「*p*」(弱く)、では本当に歌詞に表された情景、思い、作曲者の意図を表すことはできません。

そこで、今回は皆さんにこの「夏の思い出」の強弱記号に、さらに詳しい「どんなふうに歌いたいか(表現したいか)」を自分で考えて付け加えてください。

- ◆吹き出しには、どんな感じの歌い方にしたいか言葉を書きましょう。
- ◆「理由」の吹き出しには、書いた理由(情景の様子、気持ち、音の高さ、旋律の動きなど)を書きましょう。

<手がかり・ヒント>

- ・歌詞から表される、尾瀬やそこにある植物、自然の様子はどんな様子かな？
- ・音の高さが高いとどんな感じ？低いと、どんな感じ？
- ・旋律の動きはどうなってるかな？(上がってる？下がってる？その他？)
- ・「歌い方シート」も参考にしよう！

例1 (はるかな尾瀬)

優しい・思い出すような
感じで歌いたい！

考えた理由

尾瀬の風景は美しく、いい思い出
がたくさんあるから。また音も低く
いので、優しい感じにしたい。

mp

1 なつがく れば おもいだす はるかなおぜ とおいそら
2 なつがく れば おもいだす はるかなおぜ のたびよ

p

きりのな かに うかびくる やさしいかげ ののこみち
はなのな かに そよそよと ゆーれゆれる うきしまよ

A (咲いている)

感じで歌いたい!

考えた理由

mp mp mp (2番のとき) dim.

みずばしょう のは なが さいている ゆめみてさいている み ずのほとり
みずばしょう のは なが におっている ゆめみてにおっている み ずのほとり

Aの友達の意見

B (はるかな尾瀬)

感じで歌いたい!

考えた理由

p mf p

しゃくなげいーろに たそがれる はるかなおぜ とおいそら
まーなこつぶれば なつかしい はるかなおぜ とおいそら

Bの友達の意見



今日の学習の振り返り

名前 ()

☆意欲をもって学習に取り組んだ。【 A B C D 】

☆曲にふさわしい表現を根拠（理由）を考えて記入することができた。
【 A B C D 】

☆友達の見解を聞いたり、自分の見解を言ったりできた。
【 A B C D 】

☆曲にふさわしい歌い方をするための、くわしい手立てを考えることが
できた。
【 A B C D 】

☆今日の学習で感じたこと、わかったこと。

「歌い方シート」

「強弱」は、音楽の重要な要素です。でも、「強い」というだけでもいろいろな「強さ」があると思います。以下のような言葉から、自分が「どう歌いたいか」ということを考えてみて、自分の考えに近い言葉を探してみてください。

また、「他にもこんな言葉があるよ!」というのをどんどん空欄に書き入れるといいですね!

強弱	表現したい感じ	強弱	表現したい感じ
 強い	情熱的な	弱い 	ひかえめな
	エネルギッシュな		ささやくような
	元気がよい		かわいい
	活発な		おとなしい
	興奮した		静かに
	激しい		死にそうな
	乱暴な		冷たく
	明るい		穏やかな
	堂々とした		神秘的な
	のびのびと		不安げな
	怒った		寂しい
	さわがしい		暗い
	華やかな		美しい
	にぎやかな		祈るような
	派手な		かみしめるような
	笑顔で		地味な
	若々しい		ピュアな (純粹な)
	みずみずしい		泣いているような
			悲しい
			ひそやかな
	優しい		
 強く変化する	気持ちがあふれてくる	 弱く変化する	おさまっていく
	興奮してくる		静まる
	盛り上がる		遠ざかる
	近づいてくる		死に絶えるような
	生き生きしてくる		落ちついてくる
	明るくなる		終わるように
	成長する		